

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの理論と方法 (専門) b		選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
萩原 学	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	<p><目的>この科目は、ソーシャルワーカーとして、個別支援から地域支援を含めたマイクロ・メゾ・マクロの領域を理解し実践できるようにすることを目的とする。</p> <p><概要>教員が、学生に対し、教科書や資料をもとにグループワーク・プレゼンテーションを取り入れた講義を行うこととする。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・イベント <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	教科書や配付資料を参考に授業外でも地域資源の把握など調べ学習を行うようにする。基礎知識となる理論や専門用語などは、しっかり押さえる。(予習復習)				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門] /編:一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	なし。				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	クライアントシステムの充足を図るために活用できる物として社会資源を理解し、その種類と内容を説明することができる。			HC(1)~(6)	
②	様々な会議の種類と方法、目的に応じた会議の参加者や方法があることを理解し、共通点や留意点について説明できるようにする。			HC(2)、(3)、(5)、(6)	
③	事例分析、事例検討、事例研究の目的と意義を理解し説明することができる。			HC(1)、(2)、(3)、(5)、(6)	
④	個別支援から地域支援まで、ソーシャルワークの技術や技法について理解し、支援の目的、方法について説明することができる。			HC(1)~(6)	
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (講義の概要。講義の進め方・評価方法など) ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発を学ぶ	講義 グループワーク	シラバスを精読する。 第4章第1~3節を精読する	2	
2	カンファレンス 会議の種類と方法/マイクロ・メゾ・マクロの会議について学ぶ①	講義 グループワーク	第5章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
3	カンファレンス 会議の種類と方法/マイクロ・メゾ・マクロの会議について学ぶ②	講義 グループワーク	第5章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
4	事例分析、事例検討、事例研究 事例分析について学ぶ①。	講義 グループワーク	第6章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
5	事例分析、事例検討、事例研究 事例分析について学ぶ②。	講義 グループワーク	第6章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
6	事例分析、事例検討、事例研究 事例検討について学ぶ①。	講義 グループワーク	第6章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
7	事例分析、事例検討、事例研究 事例検討について学ぶ②。	講義 グループワーク	第6章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
8	事例分析、事例検討、事例研究 事例研究について学ぶ①。	講義 グループワーク	第6章第3節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
9	事例分析、事例検討、事例研究 事例研究について学ぶ②。	講義 グループワーク	第7章第3節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
10	ソーシャルワークに関連する技法 ネゴシエーションについて学ぶ。	講義 グループワーク	第7章第1節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
11	ソーシャルワークに関連する技法 コンフリクト・レゾリューションについて学ぶ。	講義 グループワーク	第7章第2節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
12	ソーシャルワークに関連する技法 ファシリテーションについて学ぶ。	講義 グループワーク	第7章第3節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
13	ソーシャルワークに関連する技法 プレゼンテーションについて学ぶ①。	講義 グループワーク	第7章第4節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
14	ソーシャルワークに関連する技法 プレゼンテーションについて学ぶ②。	講義 プレゼンテーション	第7章第4節を精読する。 事前課題に取り組む。	4	
15	ソーシャルワークに関連する技法 ソーシャルマーケティングについて学ぶ。	講義 グループワーク	第7章第5節を精読する。 事前課題に取り組む。	6	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	10	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に試験を実施して、科目内容の理解を評価する。 試験範囲は、講義で用いた教科書、配付資料から出題する。 試験形式：筆記試験 問題形式：選択式・記述式				Teams にて解答例を掲示する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	グループワーク等にて、取組みの姿勢を評価する。 毎回授業終了後にリアクションペーパーを用いて、理解度や学習意欲等を評価する。				授業中や講義の最後に評価を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	社会福祉士として社会福祉協議会にて、個別支援から地域支援までの 22 年の実務経験。 現在、地域共生社会の実現を目指し障害児通所支援事業を経営、児童指導員としての実務も有する。						
実践的授業の内容	シラバスの内容に添って、教科書を中心とした講義とグループワーク、プレゼンテーションを行う。 教員がソーシャルワーク実践の中で得た知見を交えて紹介し、授業外学習への取り組みが深められるようにする。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めないこととする。 ・今後の感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。 						